



21世紀



学校教育目標：心豊かで たくましく生きる子どもの育成

令和7年 12月 23日

実りの多い2学期でした

終業式

明日は、2学期の終業式です。暑い9月から始まり、寒い12月まで、季節は大きく変わりました。そして、児童も大きく成長しました。特に、6年生の3名は後閑小学校の最高学年として、下級生を引っ張る姿が見られ、とても頼もしく感じています。



2学期は校外学習、修学旅行、さつまいも祭り、学習発表会、人権集会などの大きな行事がありました。行事では、目標や取り組むことがはっきりしていて、子どもたちがぐんと成長します。一人ではなく仲間と一緒に取り組む。自分だけでなく相手を意識して考えて行動する。すべてが、5年後、10年後、15年後の未来の自分、夢へと続いていく重要なステップです。

小学校では、新しいことに興味をもち、学ぶことを楽しみながら、できるだけ多様な経験をして、できるだけ多くの人と交流し、力を蓄えて中学校へと進めるように教育活動に取り組んでいます。2学期の学びについて、通知表だけでは分からないお子さんの成長については、個別懇談で伝えさせていただきました。その子の良さをしっかりと認めて褒めていただけたらと思います。

冬休みは、家庭教育の出番です。子どもたちの経験や学びの機会をご家庭で作っていただくこととなります。自分で考えて自分で行動する場面が生まれるように声掛けをお願いします。最後になりましたが、2学期も保護者の皆様、地域の皆様にご協力いただき、子どもたちの多くの学びを支えていただきました。ありがとうございました。

校長、感激!!

11月のある日、一人の児童とこんな会話をしました。

児童「校長先生、冬のお泊り会はないんですか？」

校長「考えてなかったけど、したいの？」

児童「はい」、、、、というわけで、ほかの児童にも聞くと、やりたい人が複数いました。

「校長先生は、とても忙しいので、夏のお泊り会みたいにはできません。でも、みんなのお手伝いはできます。お泊り会をしたいなら自分たちで考えてください。」と伝えると、子どもたちが自主的に「お泊り会実行委員会」を立ち上げて、実施に向けて準備を始めました。休み時間に図書館に集まってアイデアを出し合ったり、校長室に来て私に説明したりしています。

この行動に正直、感動しています。「わくわくチャレンジタイム」でやりたいことを実現することを経験したからこそ、この姿があるのだと思っています。一緒に考える仲間と応援してくれる大人がいれば、実行できることを知ったのだと思います。自分たちでやりたいことを考えて、取り組む子どもたちの顔はとてもいきいきしています。

現在、急いでチラシを作っています。たくさんの方にご参加いただきたいと思います。

